

アメリカ連邦議会の党派性の特質 —上院の超党派性を中心に—

USJIセミナー 2011.7.21

国会図書館 廣瀬淳子

※当資料は未刊行データを含みますので、引用は御控ください。

※No Citation

1990年代以降の議会政治の特色

激しい党派対立による行き詰まり

- ・クリントン政権 × 共和党議会
財政赤字削減と政府窓口閉鎖
クリントン大統領弾劾
- ・ブッシュ政権 × 共和党議会
民主党を排除した立法過程
- ・オバマ政権 × 下院共和党
財政赤字削減
メディケア等の改革、医療保険改革法廃止

党派対立とイデオロギー

従来、党派対立の原因はイデオロギー対立や議員の政策選好で説明されてきた。

- 選挙区や有権者の変化(Stonecash et al. 2003, Theriault 2008)
- 両党の議員のイデオロギー的両極化(Pool & Rosental 2007)
- 上院においても党派対立が激化(Rae & Cambell 1999)

- 議会政治における党派対立で、政策選好やイデオロギー対立によるものはその半数強にすぎない。残りの対立は議会内の資源や権力、多数派の地位をめぐる、イデオロギーとは無縁の党派対立である。(Lee 2009)

党派性に関する先行研究の問題点

- 下院研究が中心
- 従来の上院の党派性の研究は、フィリバスターと立法の行き詰まりに焦点 (Sinclair2006,2007; Binder 1997, 2003)
- 最近になって上院における政党の役割や党派性の増大に関する包括的な研究が登場
(Theriault 2008, Monroe et al. 2008, Lee 2009)
- 立法過程を一連のものとして両院を通じた党派性の研究の欠如

本論の目的

- 両院を通じた党派対立の実態を分析
- 特に上院の党派性を分析

重要法案について両院の党派性比較

- データの概要

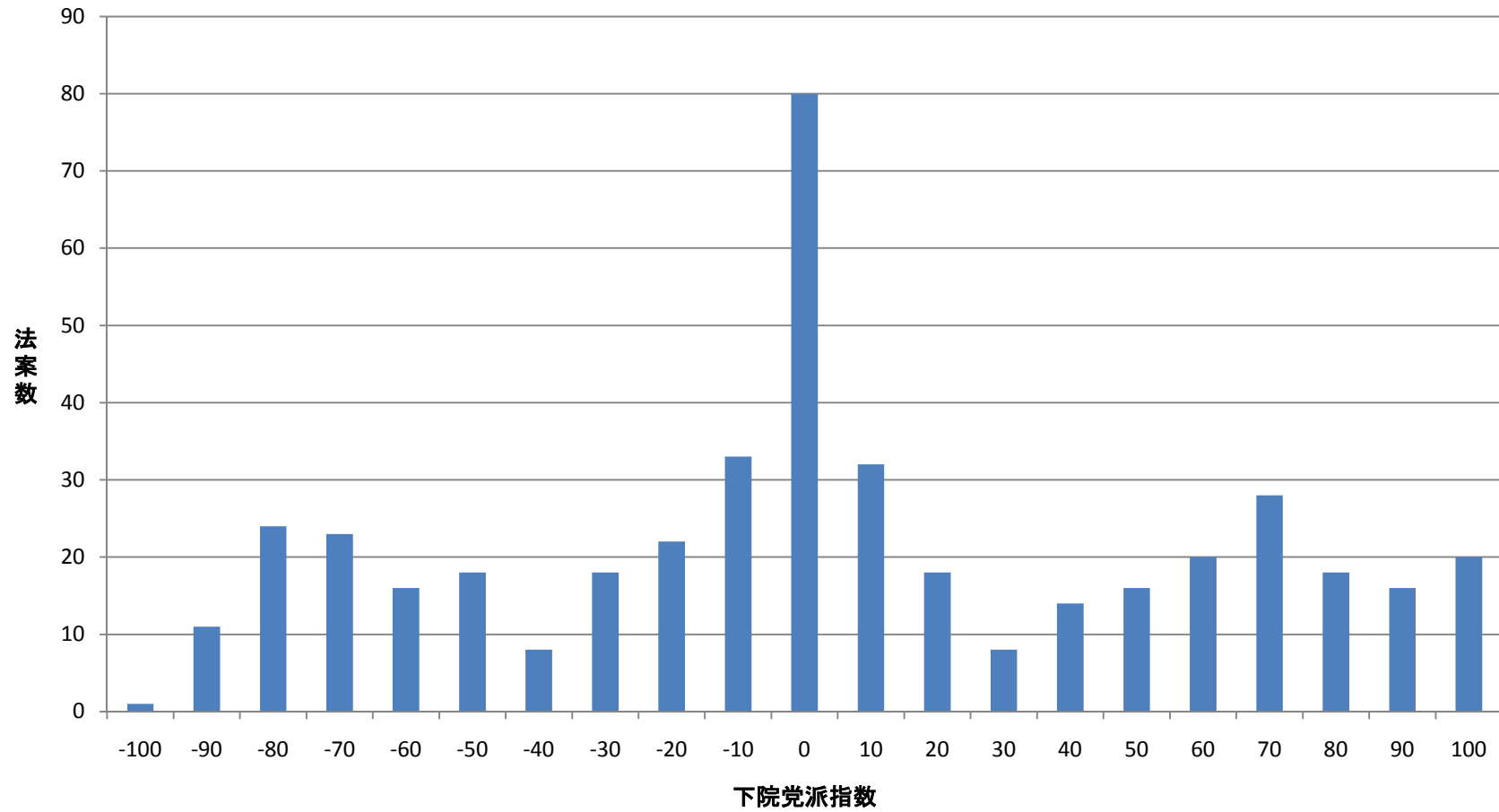
97議会～108議会の重要法案について、法案の最終投票について党派指数を計算

- 党派指数の定義

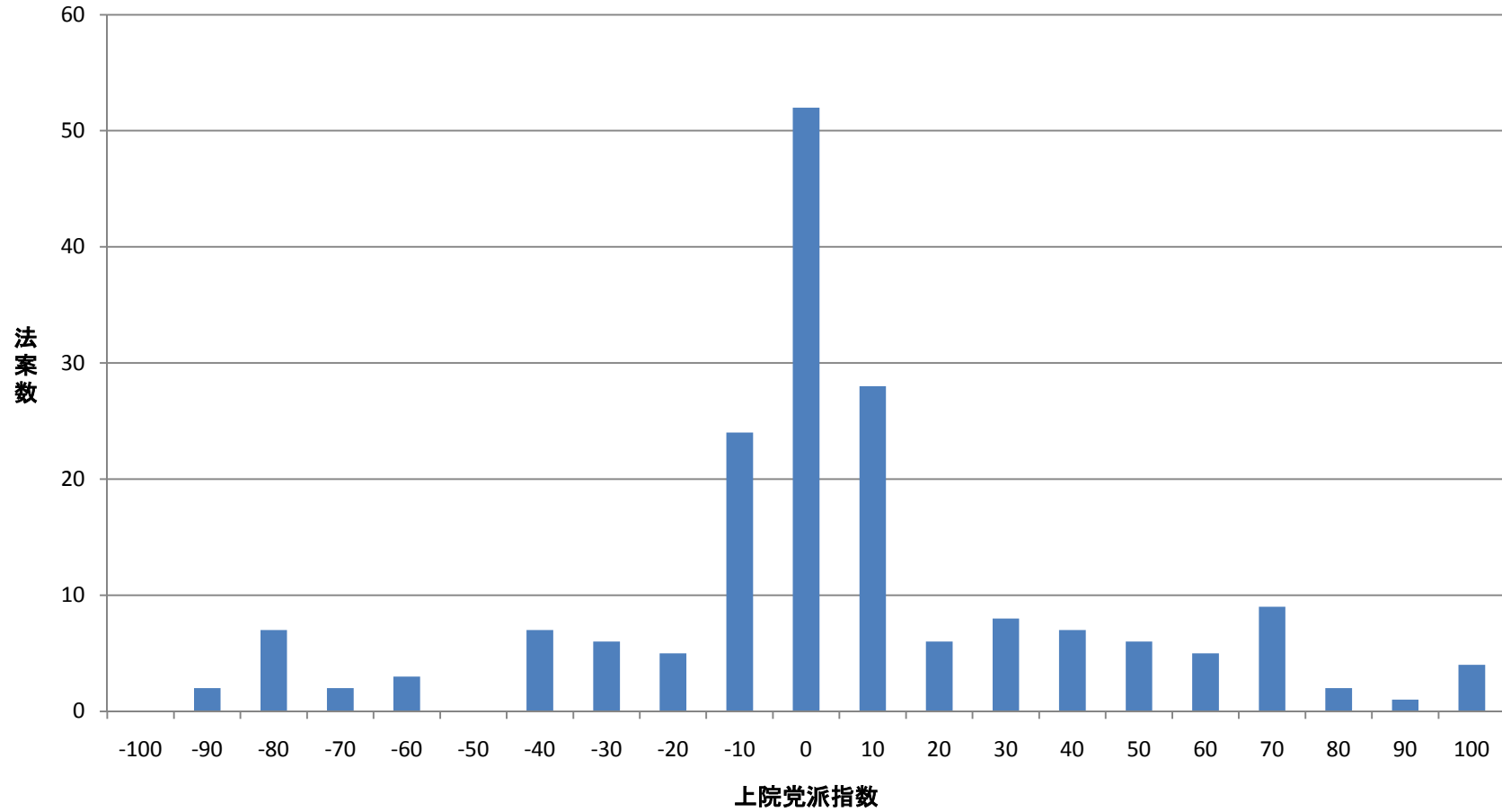
共和党賛成率－民主党賛成率

- 両院の党派性を比較

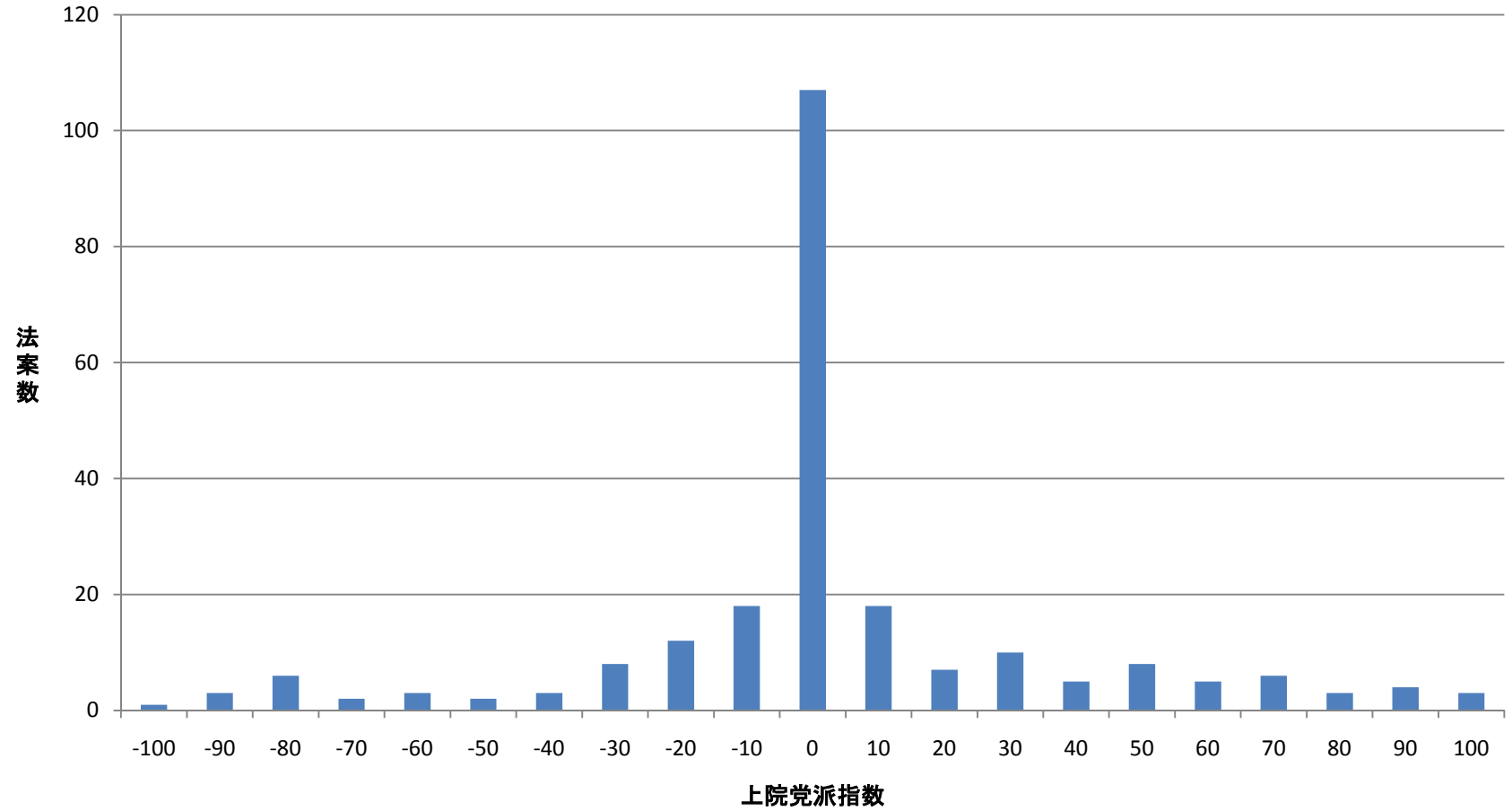
97-108議会下院提出法案の下院党派指数分布



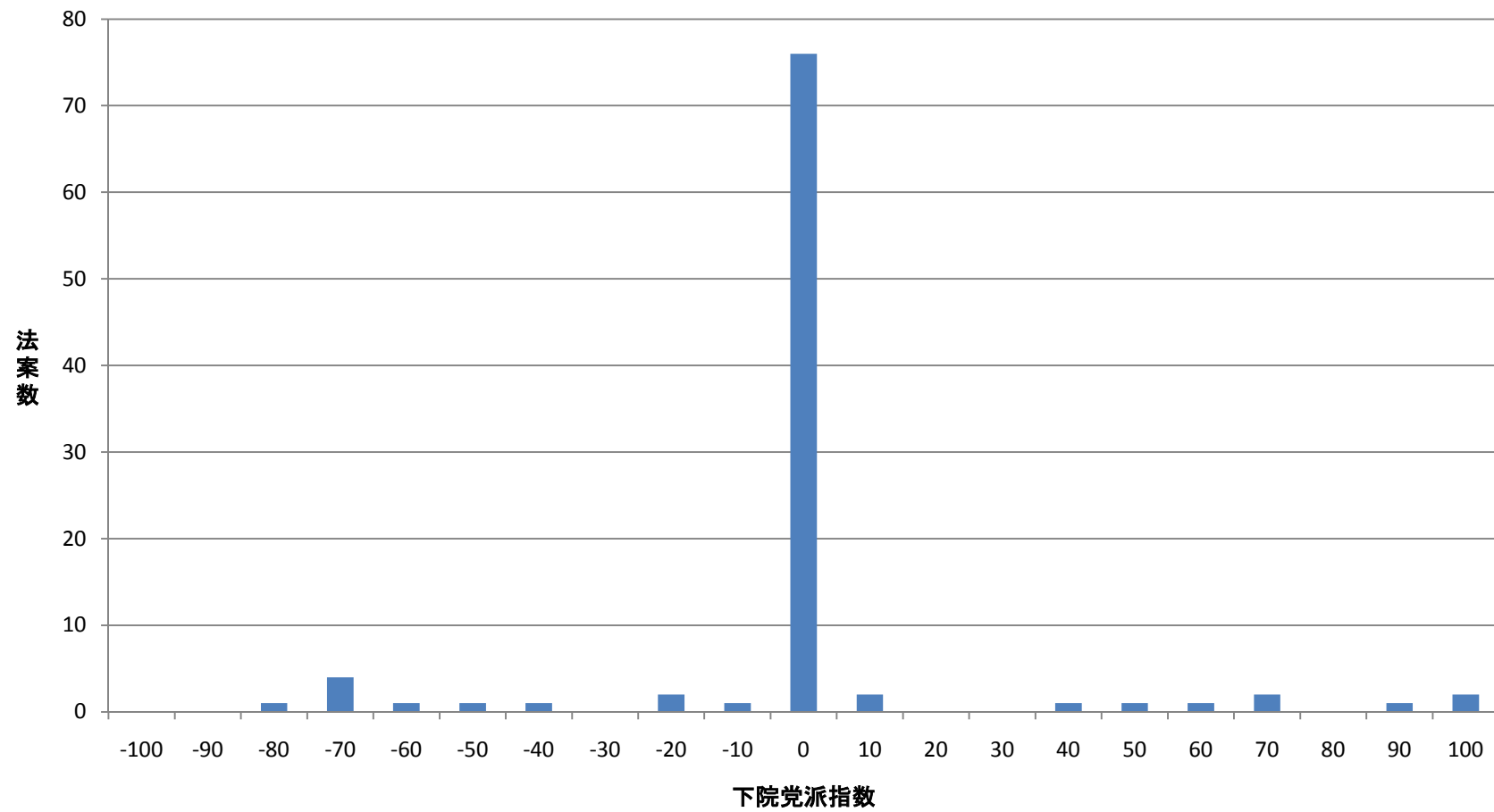
97-108議会上院提出法案の上院党派指数分布



97-108議会下院提出法案の上院党派指数

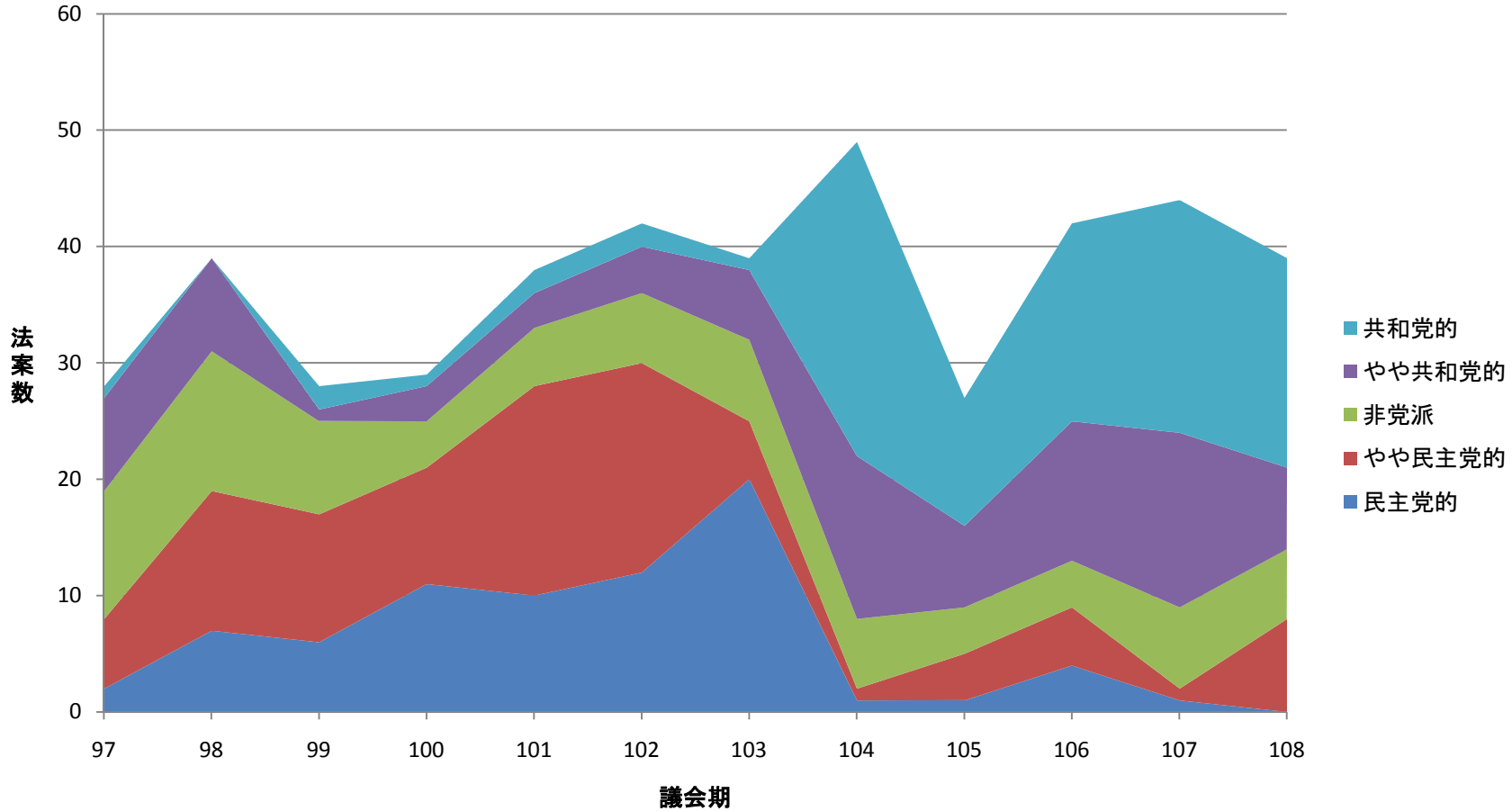


97-108議会上院提出法案の下院党派指数

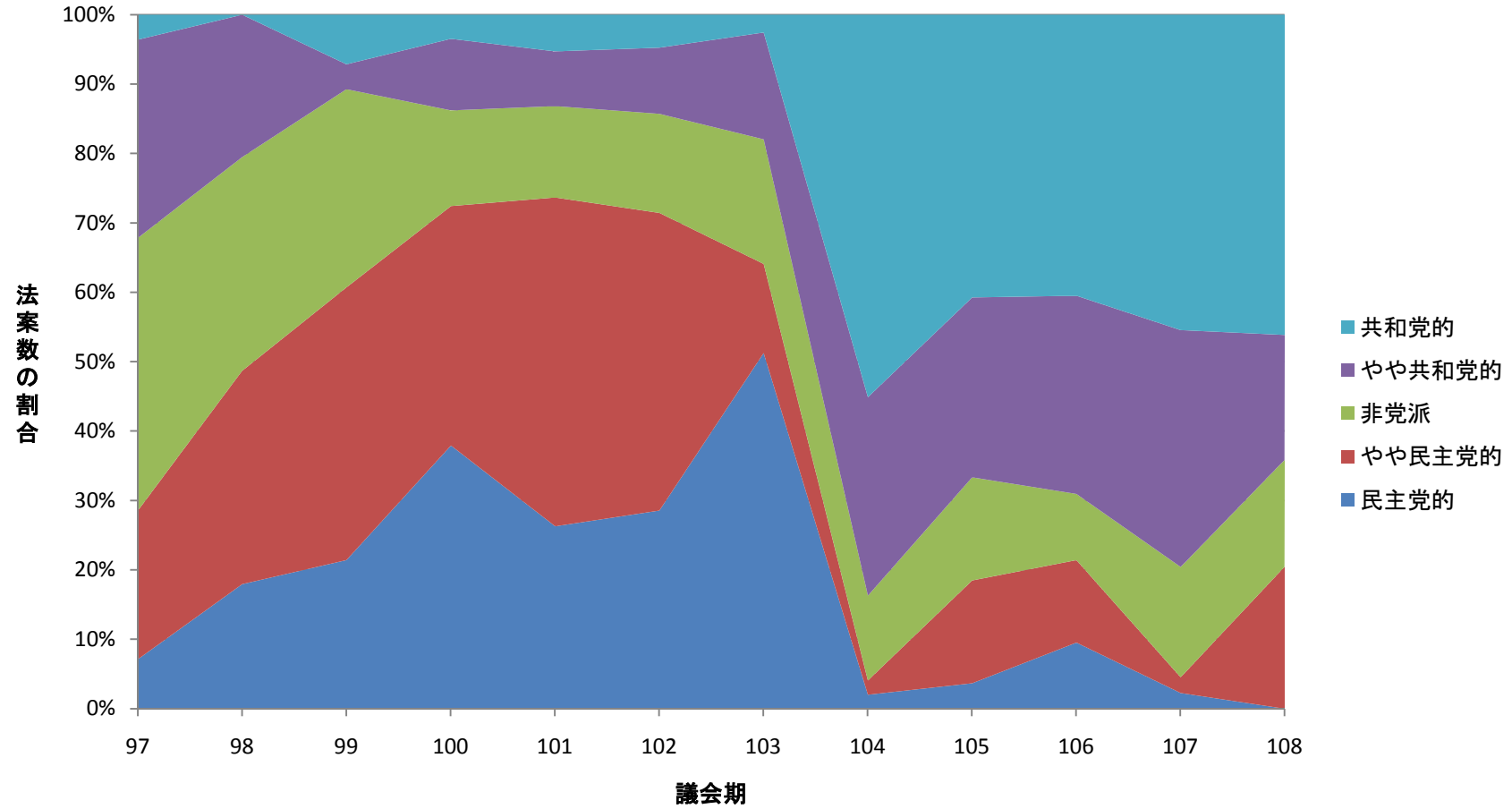


議会期による変化

下院提出法案の下院党派指数

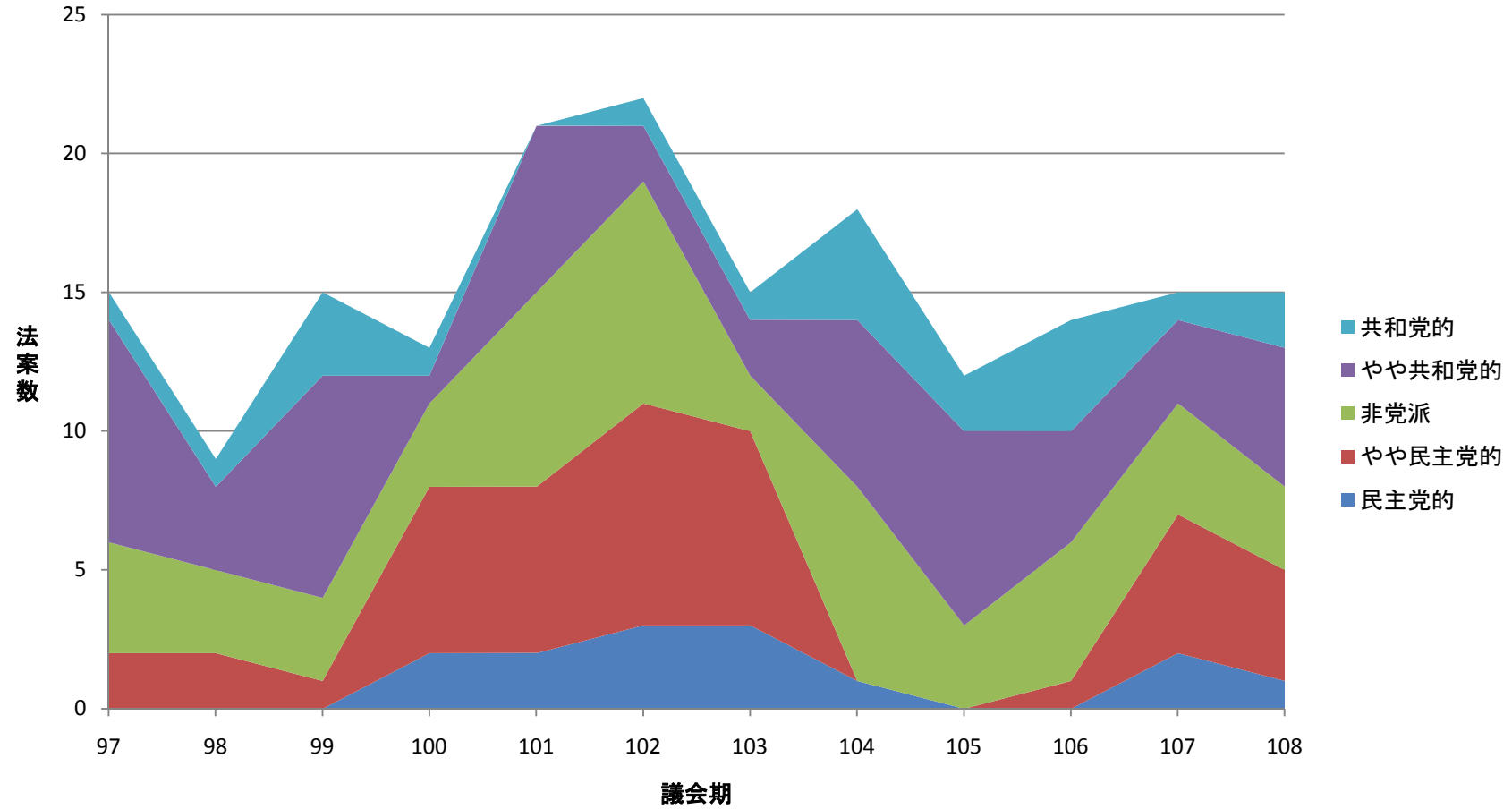


下院提出法案の下院党派指数

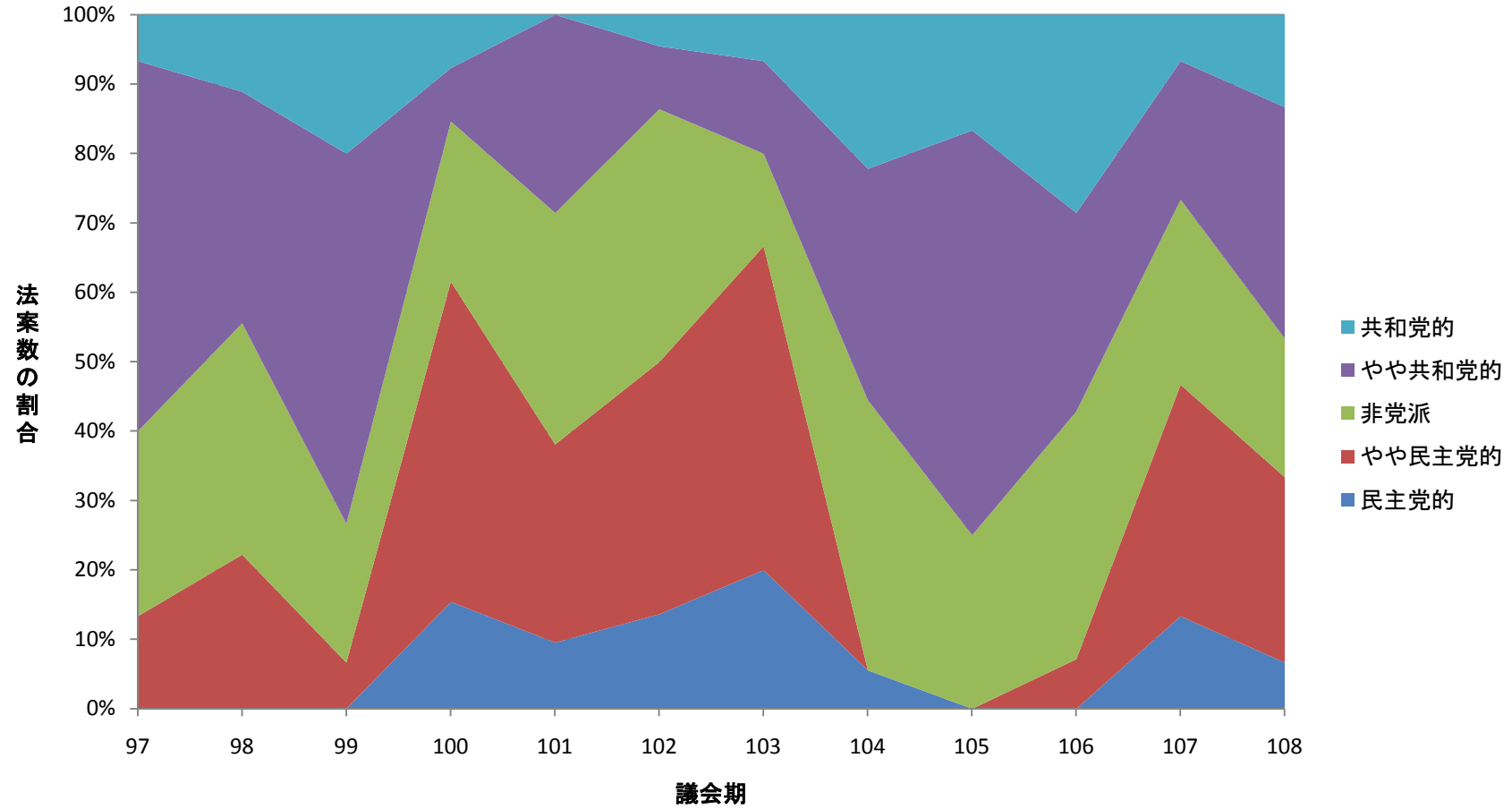


議会期による変化

上院提出法案の上院党派指数

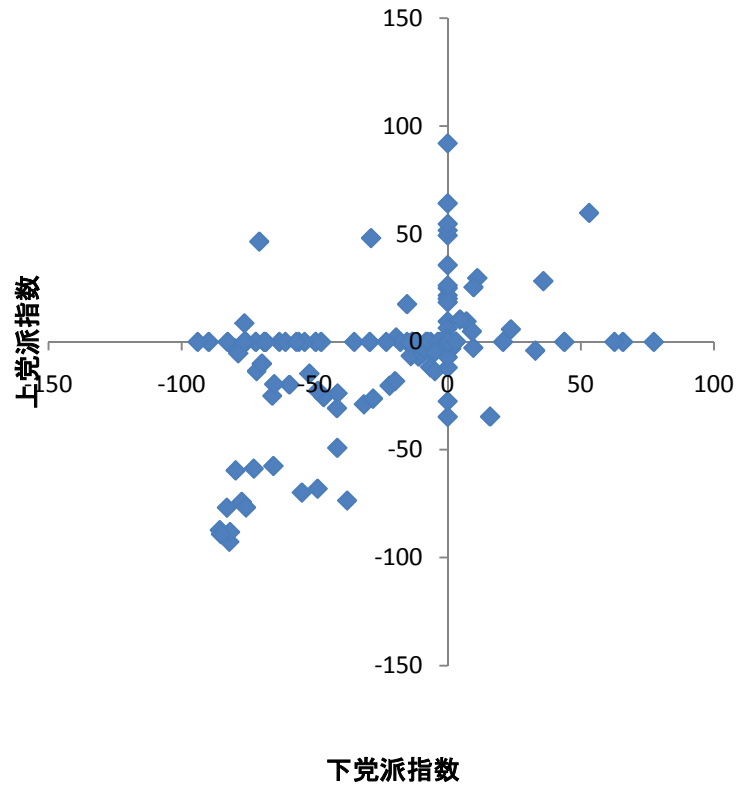


上院提出法案の上院党派指数

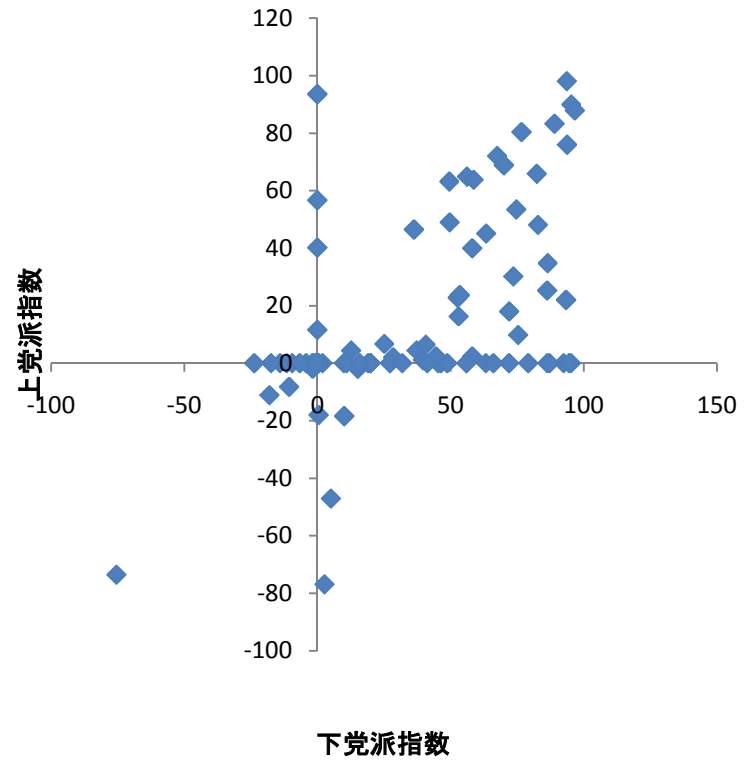


両院の党派指数の関係

下院提出法案(97-103議会)

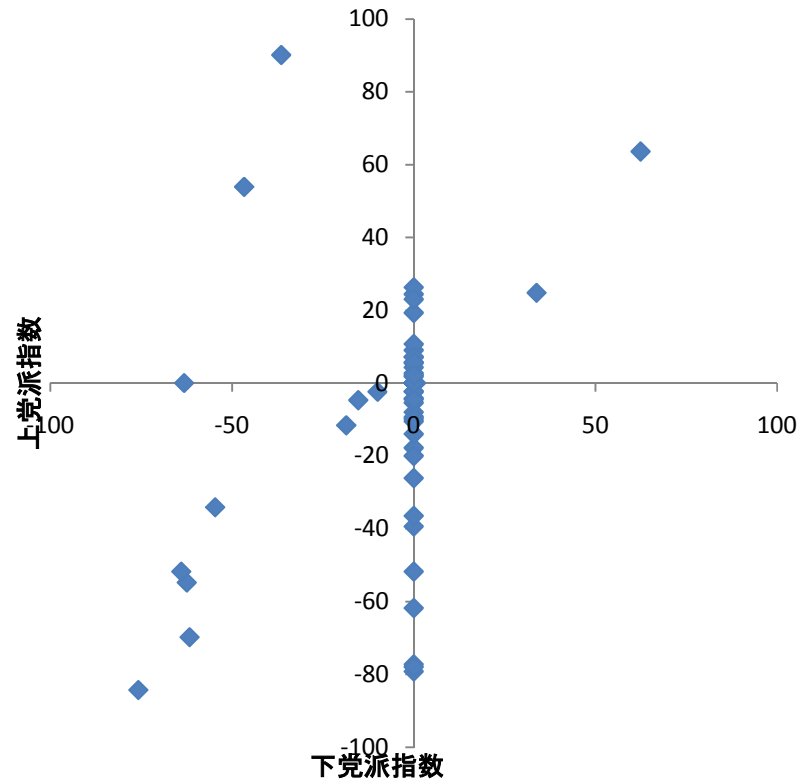


下院提出法案(104-108議会)

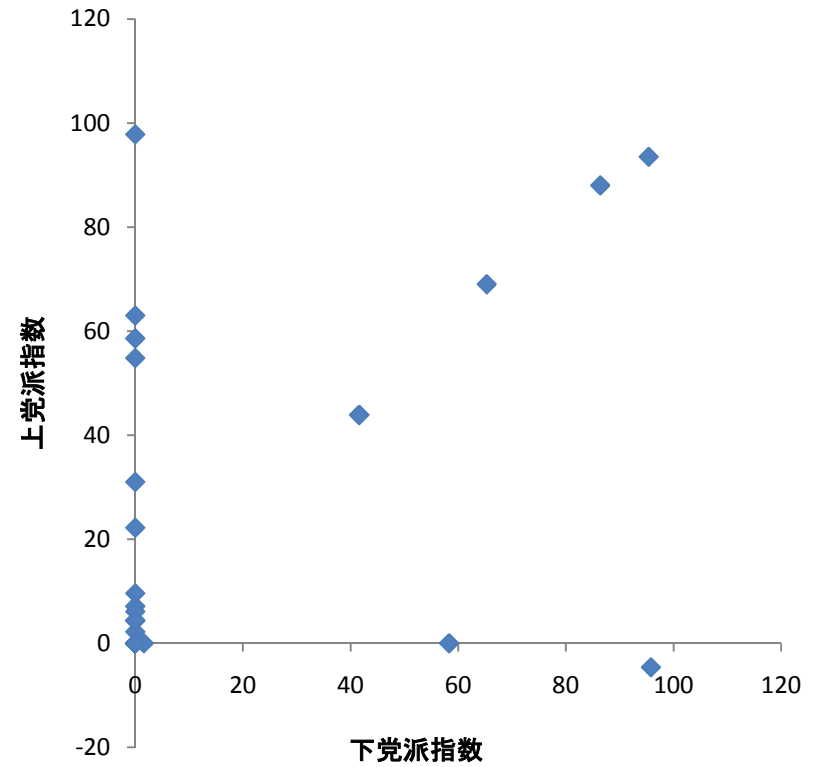


両院の党派指数の関係

上院提出法案(97-103議会)

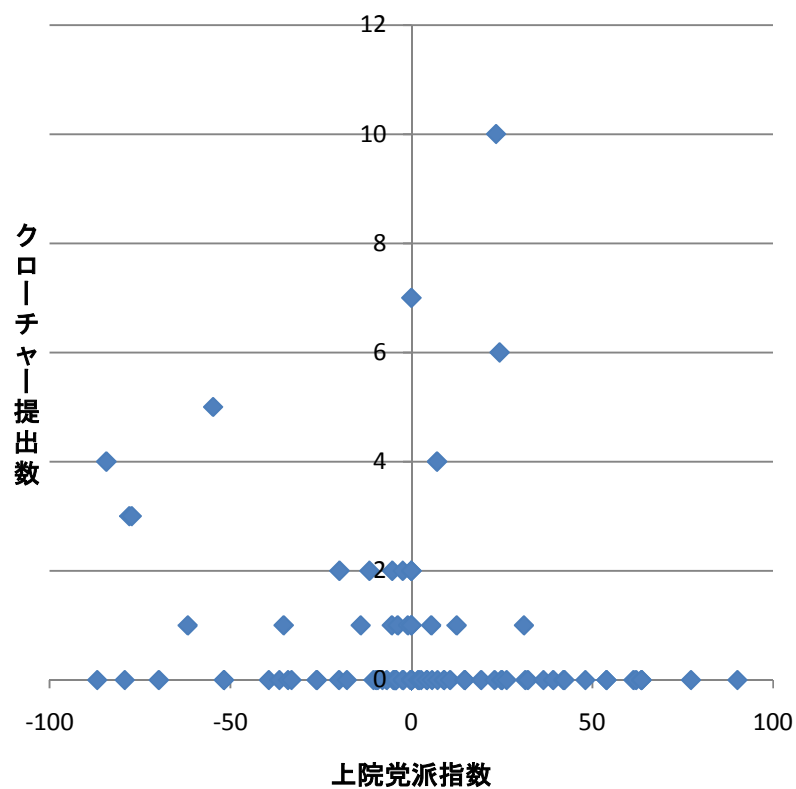


上院提出法案(104-108議会)

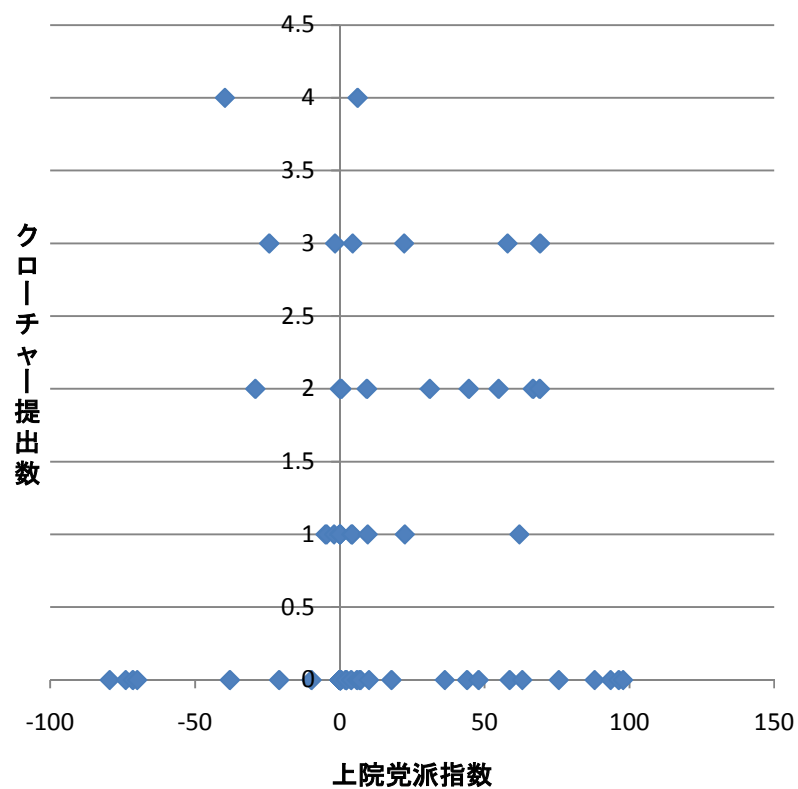


上院の党派対立とフィリバスター

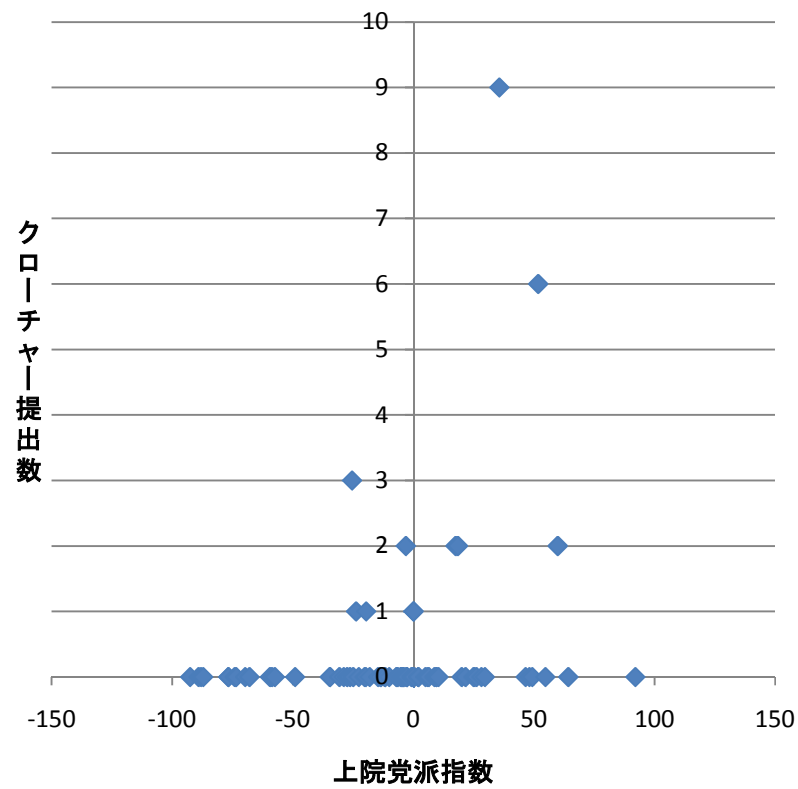
上院提出法案97-103



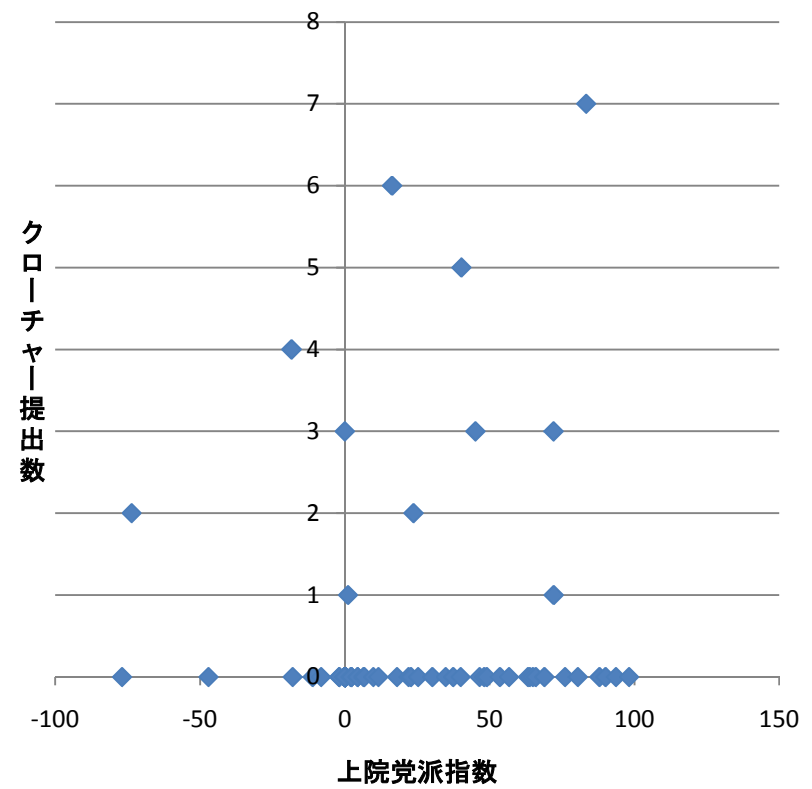
上院提出法案104-108



下院提出法案97-103



下院提出法案104-108



クローチャー提出数

上院通過	提出議院	議会期	平均クローチャー提出数	法案数
通過	上院提出	97-103	0.63	103
		104-108	0.76	70
	下院提出	97-103	0.22	136
		104-108	0.37	92
不通過	上院提出	97-103	0.75	65
		104-108	1.30	50
	下院提出	97-103	2.00	1
		104-108	1.29	7

結論

- 下院では党派対立は104議会までは激しくなる傾向にあった。上院の変化は小さく対立も下院ほどではない。
- 法案の提出議院により、党派対立の傾向は異なる。両院共に他院提出法案に対しては党派で対立しない傾向。特に下院では上院提出法案に対して党派で対立しない。
- 上院のフィリバスターは、党派対立のみによるものではない。
- 上院の超党派性は、制度による要因が大きいと考えられるが、政策選好との関係などさらに詳しく分析する必要がある。
- 両院の党派政治は異なっていることが示唆される。

参考文献

- Sarah A. Binder, *Minority Rights, Majority Rule: Partisanship and the Development of Congress*, Cambridge: Cambridge University Press, 1997.
- Colton C. Campbell and Nicole C. Rae, eds., *The Contentions Senate, Partisanship, Ideology, and the Myth of Cool Judgment*, Lanham: Rowman & Littlefield Publishers, Inc., 2001.
- Frances E. Lee. *Beyond Ideology: Politics, Principles, and Partisanship in the U.S. Senate*, Chicago: University of Chicago Press, 2009.
- Nathan W. Monroe, Jason M. Roberts, and David W. Rohde eds., *Why Not Parties? Party Effects in the United States Senate*, Chicago: University of Chicago Press, 2008.
- Keith T. Poole and Howard Rosenthal, *Ideology and Congress*, 2nd. ed., New Brunswick: Transaction Publishers, 2007.
- Barbara Sinclair, *The Transformation of the U.S. Senate*, Baltimore: Johns Hopkins University Press, 1991 (paperbacks edition).
- —————, *Party Wars: Polarization and the Politics of National Policy Making*, Norman: University of Oklahoma Press, 2006.
- —————, *Unorthodox Lawmaking: New Legislative Processes in the U.S. Congress*, 3rd ed., Washington D.C.: CQ Press, 2007.
- Jeffery M. Stonecash, Mark D. Brewer and Mack D. Mariani, *Diversing Parties: Social Change, Realignment, and Party Polarization*, Cambridge MA: Westview, 2003.
- Thean M. Theriault, *Party Polarization in Congress*, Cambridge: Cambridge University Press, 2008.